拓水

題字は　県漁連三浦会長

12月号

No. 147

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町 123
発行人　三浦清太郎
TEL (防) 6685・(漁) 6954
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月 30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

昭和四十三年

県水産界の主な出来事

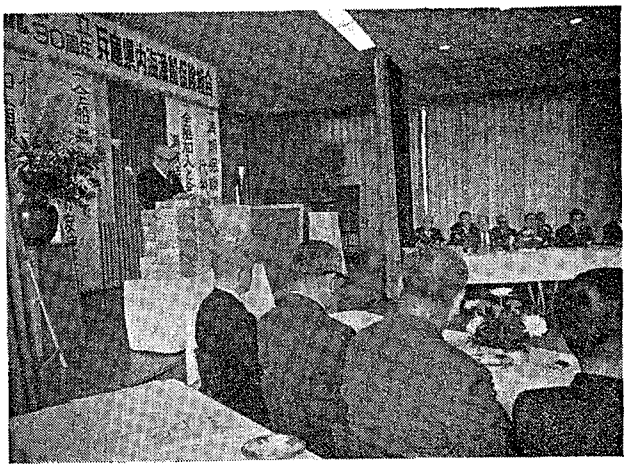
去る11月22日から突発的に数日間続いた明石海峡附近一帯の廃油によるノリ被害は、実に憤まんやるかたない悲しむべき事件であった。第一回の摘み採りを目前にして全滅的被害を受けた人々の心情は、察するに余りあるものがある。

憎むべき加害者が必ず何処かに隠れている筈だから、これは徹底的に追求して貰いたいし、同じような事が二度と繰り返されないためにも、犯人には厳罰を加えて欲しいものだ。

今後こうした全く相手不明の公害からの自衛手段というか、漁業防衛策のようなものを水産界の新しい課題として、取り組む必要がある。

そしてこの「漁業防衛」が夥しい生物生産力を内蔵する瀬戸内海で着実に行なわれている限り、沿岸漁業は逆に大きく飛躍し、発展する結果を得るものと思う。

明治百年に当たる今年にも年末が近づいてきた。人さまざま今年の思い出にひたりながら、去り行く年に元気よく別れを告げようではないか。



兵庫県内海漁船保険組合

創立30周年記念式典挙行さる

去る11月27日水産会館大ホールに於いて、水産庁長官、兵庫県知事を始め来賓各位多数のご出席を得て「知事感謝状の贈呈」「漁船保険中央会長表彰」等の記念式典が盛大に挙行された。（写真は挨拶する三浦会長）

◉天皇、皇后両陛下の但馬行幸啓

10月4日福井県国体の帰路両陛下が但馬路においでになられた。但馬文教府に展示した農林水産物をご覧になられたが、生物学者でもある陛下は八鹿の錦鯉に特に関心をもたれたそうである。翌5日、快晴に恵まれた日和山公園お待橋に立たれた両陛下を、津居山・竹野両漁協の漁船約百隻が海上から奉迎した。海上で万歳を叫びで、大漁旗を打ち振る漁業者に陛下は親しげに手を挙げ長い間応えられた。

◉但馬の沖合イカ釣漁業予想以上の好成績

最近日本海側におけるスルメイカ釣漁業の沿岸より沖合へ移向する気運は昨年来とみに高まり、本年に入っていよいよ本格化し、兼業船（底曳との兼業）、専業船あわせ八十一隻が大挙出漁し期待以上の漁獲を揚げた。現在もなお専業船は出漁しており、九月末では地区全体で六億の水揚げがあり、この分なら本年終期には七億円を優に超えるものと想像されている。これらの現況によって来年度は出漁船がさらに増加することが予想され、これで日本海側における沖合イカ釣漁業のしめる地位は確立されたものと関係者も喜んでいる。

◉湊沖の漁場被害

六月十三日未明、岡山電化工業のチタン精製廃液を廃液投棄請負辰己商会丸の下請三晃商会がチャーターした投棄海運第三幸徳丸によって投棄され「死の海」と化した。

投棄点が白岸三百米の地点であったうえ、保護水面パイロット漁場に近く、この重大さから県では、副知事を長とする工場廃液海上不法投棄対策本部を設置、漁場掃海や資源添加をはかり漁場回復をはかった。

◉県水試新庁舎でスタート

長い間要望されていた新しい水試の建設は、昨年来ようやく念願がかなって去る五月完成、そのスマートな容姿を明石市中崎町理立地に見せてからはや半年余り、従来なかった近代設備により着々と業界の期待に応えて、文字どおり八面六臂の活躍をしている昨今である。とくに屋外飼育池の利用は、現代斯界からもっとも注目を浴びている養殖漁業に直結した試験研究に大きく役立っており、今後ますますその活用が期待されている。新しい水試が今後さらに大きく飛躍することを祈りたい。

1968 トピックニュース

◉第9海区漁業調整委員会委員選挙の実施

8月6日海区漁業調整委員会委員の投票による選挙が実施された。投票による委員選挙が行なわれたのは昭和27年以来久し振りのことで、漁業者間に投票による選挙の是非が大いに議論された。

有権者数15791、投票総数13017で投票率は82%であった。

なお、全国で投票による選挙のあった海区は64海区中34区海であった。

◉淡路にFRP漁船誕生

最近漁船建造の際、漁船の発注から進水までの期間が、建造者等の老令化も加わって余りにもかかりすぎており、その他木材不足等の諸問題が出てきているので、これらの問題点の解決のために最も新しい小型漁船材料として注目を浴びているFRP（ファイバーグラス・レインフォースド・プラスチック）による小型底曳漁船の建造が強く要望されていたが、西浦水交会や内海漁連の協力を得て本県で初めて淡路の郡家漁協の石上幸作さんがこれにふみきり、本年九月江井の山崎造船所にて完成された。水産課や水試による試験結果も極めて上々でなんら従来の船とくらべて遜色はなく、これで耐用年数が延びるとあれば将来性は十分あり大いに関心を持っていただきたいと県でも要望している。

◉湊でクルマエビ種苗生産成功

栽培漁業は、種作り、漁場作り、人作りを性として飛躍的な発展を続けているが、湊漁協組では8月18日洲本農林事務所の援助を得て、十五尾の親エビから約三十万尾の稚エビの種苗生産に成功した。

これから栽培漁業は、漁業者自身の手で種苗を作り、保護育成して計画的に採捕する新しい方向づけが必要で、この種苗生産成功が今後の沿岸漁業振興に大きな原動力となるであろう。

◉淡路西浦でノリ養殖に着手

従来本飾風と波浪のためノリ養殖が行なわれていなかった淡路西浦漁場で、ノリ養殖開発試験（百五十万円）が11月から県水産試験場と一宮町関係漁業者の間で着手された。

この試験が成功すると、従来未開発地域であった淡路西浦漁場のみでなく、瀬戸内海沿岸全域や但馬沿岸でも可能となるので、各界の期待が大きい。

◉岩見にアカガイ三十万個移殖

栽培漁業協会屋島事業所では、御津町岩見産の母貝から人工採苗に成功、その稚貝（殻長二～五ミリ）を九月三十日岩見沖漁場に中間育成のため移殖した。

中間育成は直径四十㌢の育成籠（百籠）に入れ海底近くに垂下、岩見アカ貝研究グループの管理によって成長は極めてよく、十一月八日殻長三～四センチに成長したもの約二十キロを一次まきつけした。つづいて十二月七日三センチ以上に成長したものをまきつける予定で、人工採苗からの生産が期待される。

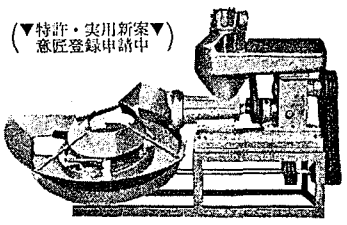
◉明石に人工ノリ漁場完成

明石市松江地先では昭和三十九年と四十年に、全国初の鋼製翼形防波柵によるのり養殖場を造成しているが、本年九月～十月には、さらに西へ魚住までの三ケ所に新型の養殖漁場を開拓した。

これは明石浦、林崎、江井ケ島、魚住の四ケ浦共同施行により工費一九五〇万円で、水深五～七米の場所に合計六三二本の鋼管パイルを二十五米間隔に打込んだもので、これにより更に五千枚のノリ網の保全けい留が可能となり、関係者からその成果が大いに期待されている。

養魚の調餌から造粒そして投餌まで
この機械がします

（▼特許・実用新案▼ 意匠登録申請中）



（船用ガソリン付・陸上モートル付）

最近の人工餌料の需要の増加にともない，生魚と人工餌料をよく練り合せ，造粒装置チヨッパーで固型にして投餌する時代となりました。この一連の作業をこの機械が行ないます。

（別一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通2丁目70番地　TEL代表神戸(078)62－1527

年に一度，戎さんの日に開催される漁村青壮年県大会に参加しよう。

そして漁業者の意気と団結をいやが上にも昂めよう。

第17回漁村青壮年活動実績発表大会

1　日時　昭和44年1月11日（土）　10.00

2　場所　神戸市兵庫区新在家
兵庫県水産会館4階大会議室

3　参集者　県下漁村青壮年，漁業団体
県市町水産関係者

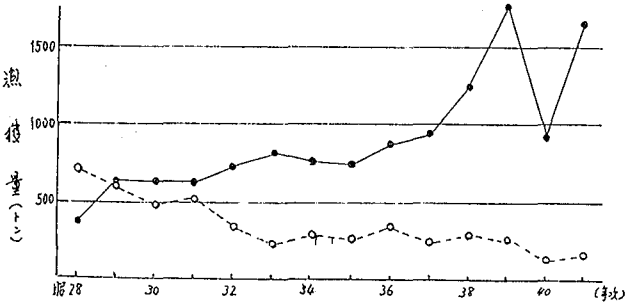
11～12月の漁海況（内海側）

海況

大阪湾，播磨灘における11月上旬の水温は，大阪湾では表層平均19.5℃，10m層が20.5℃，播磨灘では表層，10m層とも20.0℃に下降し，両海域とも例年同期より0.5℃内外の低目となった。すでに両海域の中部以北では，上冷下暖の冬型分布で，今年10月下旬以降の水温降下はやや急であった。したがって，12月上旬には表層で15～16℃，下層で16～18℃になる模様。なお両海域の塩素量は11月上旬では前月同様例年よりやや低目であるが，12月中に例年量に回復するものと思われる。

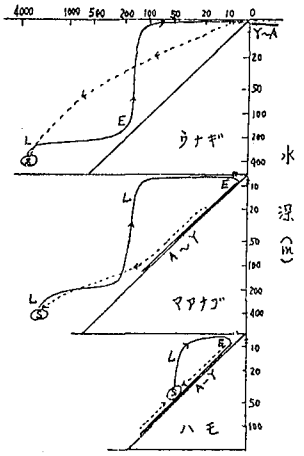
漁況

前報（11月号）では，近年の内海における有用水族の中，マアナゴとマダコについて二三の検討を行なったが，今回は，いわゆる〝ながもの〟といわれるウナギ，マアナゴ，ハモの生態に関する既往の資料1～3から，兵庫県内海のアナゴ，ハモについて考察してみよう。



第1図　ハモおよびアナゴ漁獲量の経年推移（兵庫県内海）
●—●：アナゴ，○--○：ハモ　兵庫県庁統計調査資料より

第1図は　兵庫県内海における，アナゴとハモの経年漁獲量である（ウナギは稚魚期に漁獲され，周知のように養殖魚で県下では少ない）。これによると，昭和30年以前は，ハモの漁獲量は平均500トン以上であったが，近年では200トン内外に減少している。逆にアナゴは500～700トンから最近では1000トンを越えている。この両者の増減については多くの要因が考えられるが，それらの中，両者の産卵場に差のあることが，大きな要因であろう。



第2図　ウナギ目魚類の生態周期模式図（高井原図）
S：産卵場，A：成魚，E：稚魚
Y：未成魚，L：稚仔，破線：産卵回遊を示す

第2図は　上記3魚種の生態周期[1]を模式的に示したものである。瀬戸内海東部のハモの産卵場は明確でないが，内海西部の周防灘では，水深40～50mの泥，砂底質の海域が産卵場となっているし，[1]昭和41年に紀伊水道北部で本場調査船が本種の葉形幼生を1尾採集しているところから大阪湾南部から紀伊水道の40m以深の海域が産卵場と推定される。マアナゴの産卵場は黒潮流域[1~2]，ウナギはさらに南方の海洋が産卵場[1]といわれている。これは，3者が日本沿岸に来遊するときの形態がウナギでは葉形幼生期を経てすでに稚魚期（シラスウナギまたはハリウナギ）となっており，マアナゴ，ハモでは葉形幼生期であることからも明らかである。図に示されるように，ハモの産卵場は前2者より遙かに浅海で，そこに漁業が介入している。したがって，近年のハモ漁獲量の減少は，一方では長期的な海況条件の変動も一因であるが，他方ではこれを対象とする漁業が，その資源にかなり負の作用をしていることがうかがわれる。

参考資料
1）高井　徹：水講研究報告（1959年）
2）鍵田　三朗：三重大紀要　（1961年）
3）松井　魁：水講研究報告（1952年）

（水試　浜田）

のり網のズボ式採苗
神戸・明石地区で成功

瀬戸内海では，近年，ノリ養殖が非常な勢いで伸びてきている。県下でも昨年の養殖網数二九千枚に比べると，本年は五八千枚とわずか一年間に二倍にも増えている。

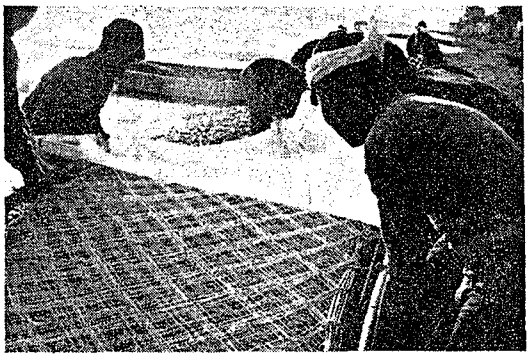
これは，浮流養殖による新規漁場開発の結果でもあるが，タネ網は他所に依存している状態であるから，ノリ養殖が増えることにより，地元漁場に合った良いタネ網の確保が大きな課題となってくる。

タネ網は一般に，秋に糸状体貝殻から出る胞子をノリ網につけ，芽に育てて養殖用とするわけであるがこれには室内採苗と屋外採苗とに二大別されているいろいろな方法があるが，海の深い浮流地帯では不便なことが多く，なかなか実現されにくい状態である。

しかし本年度にいたり神戸市西部，明石市沿岸では，新しい採苗法によって企業的な導入試験をはじめている。それは糸状体と網とをポリ袋の中に封入し，海面に浮かべて採苗するズボ式採苗である。この名前の起源は，網も糸状体も一緒にズボッと，袋に入れるところからきたものである。

ズボ採苗の特長は，放出された胞子が袋の外に流れないから効率がよいこと，袋の中では青や硅藻が付着しないこと。それに何処にでも浮かべて採苗できるので，浮流地帯には都合のよい採苗法ともいえる。

神戸市西部漁協での状況をみると，地元で培養した糸状体を使い，十月中旬から下旬の間に約千枚を採苗し，百%成功している。


ズボ式採苗の準備（神戸市西部漁協）

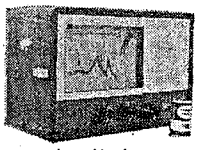
その方法は，網を張る二時パイプの浮枠を作り，これに貝殻をのせる採苗網を取り付け，その上にノリ網を重ねて，最後に全体をポリ袋の中に収める。袋の中の空気を抜きながら海水を入れ，口を縛ってけい留すればよいわけである。一枠当たりに網数は三十～六十枚，貝殻は九〇〇枚。大体三日間位に採苗を終えなければ袋の中でムレてくる。

この採苗法の難かしい点といえば，確実に胞子の出る貝殻を入れることであるが，神戸市西部漁協養殖課では「室内採苗も併せて行なえば放出期がつかめる」と，室内採苗での放出状況を目安にしている。

第二に心配された点は，網に胞子を付けてもそれを芽にするまで，全国的にもあまり例のない浮流しでの管理方法であったが，二次芽網での経験を生かして同じように，適時乾燥して青殺しを行なってきた結果，芽付の良い状態で成長しており，この方法で養殖できる見通しが十分たったわけである。

本年度はじめて自家採苗し成功した原因の一つに，糸状体を冷蔵庫に入れて採苗期を遅らせる試みもあったが，今後，さらに改良と研究が進められ，浮流養殖地帯でも本格的な採苗が期待される。ズボ採苗に要する経費は浮枠用塩ビパイプ採苗網，ズボ袋などの資材費で一枠当たり約一万円。

（N）

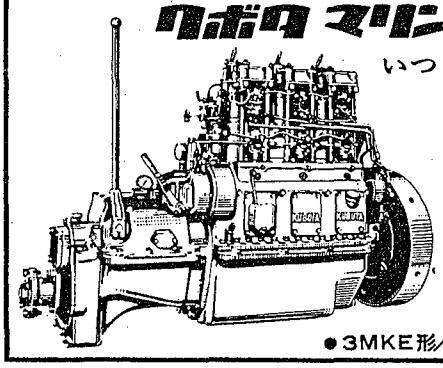
超小型 新鋭機出現
フィッシュパイロットは　乾電池でOK
あなたの魚探です　大型機並みの記録

（フィッシュパイロット）
海上電機株式会社
本社　東京都千代田区神田淡路町1～19　電話　東京(291)2611～3・8181～3
神戸営業所　神戸市生田区明石町32(明海ビル)　電話　(39)4301代・(33)3706　ビル交換

一口辞典
親潮（おやしお）

親潮は1名千島海流ともいわれ，日本近海の代表的な寒流である。

親潮の名はこの寒流が栄養分が多く魚類や海藻類を育てる親となるという意味でつけられたともいわれている。この海流は千島列島の東方海域を列島に沿って南西に向かって流れ北海道の東南岸の沿岸を洗い三陸沖に南下する。一般に夏季には流勢が弱く冬季には強くなって銚子沖付近まで達することもある。また一部は黒潮系の暖水の下にもぐり親潮潜流となって流れているが実際の流向や流速はあまりよくわかっていない。親潮本流の流速は平均0.7ノット，最高1.3ノット位で流れの強い部分の幅は10～15カイリ位である。この親潮の厚さは200～400メートルで，北海道南東岸沖の親潮域では表面水温は冬の1度前後から夏は19度前後まで変化するが，100～150メートル層には年間を通じて2度以下の冷水がみられる。表面の塩素量は18.4プロミル以下である。また北海道近海の親潮の流量は1秒間に約1500万立方メートル位と推定されており，黒潮の流量の約3分の1ないし4分の1程度である。（菅）

おいそがしいあなた……
充分な睡眠が明日への
健康を約束します
三菱パイレン肌ふとん
只今好評
発売中！
寝具の　大阪屋商事株式会社
本社　東京都文京区千石4ノ33　TEL東京㊇(944)1521
関西営業所　尼崎市生津東野口　TEL大阪㊇(421)7990

クボタ マリンディーゼル
いつも漁場に一番のり
●主機用　4～1000馬力
●補機用　8～3000馬力

クボタ
国つくりから米つくりまで
久保田鉄工
●3MKE形／35馬力

漁協合併の現状

＼漁協合併は進んでいるか

昨年七月二十四日に漁業協同組合合併助成法が公布施行され、全国一斉に合併推進が始められてから、早くも一年数カ月を経ようとしている。さてこの間本県の合併はどうなっているか、残念ながら実績ゼロである。

誠にお恥かしい次第である。昨年は、法施行も年度途中であり、合併趣旨の普及徹底に重きをおいて実現の期待は、あまりかけていなかった上に、八月から十二月にかけて特殊事情もあったりして、普及も思うにまかせぬ状態で終始してしまった。

本年度に入ってからは具体的な推進に本腰を入れようとしてきたのであるが、八月頃までは殆んど昨年度の域を出ないままで終わった。九月に入ってようやく今までの基礎的な普及指導を足場に、具体的な推進が行なえる地区ができ始めた。今のところ、本年度内に実現をみることほぼ確実とみられるのが二地区五組合となり、やや確実とみられるのは三地区十組合となっている。

＼合併をどう考えるべきか

合併推進がなぜこのように遅々としているのか、合併ということは、漁協にとっては現状に大きな変化をもたらすことであり、役員も組合員も自然と慎重にならざるを得ないのであろう。合併をしたら一体組合員は得になるのか損になるのかどうなんだ、疑心暗鬼というか暗中模索というか迷いの気持ちが先に立っていることもまたやむを得ないと思う。

どこの会議に出てもまず「合併したらどんなよいことがあるんや。」ときかれるが、けだしこの気持ちの表現に外ならない。

それ故に今まで水産課挙げて合併の必要性、効果などの普及指導につとめてきているのであるが、最近になってようやく漁民の間に認識が深まりつつあると認められるが、今後も引続きその努力をつづけていきたいと思っている。

では合併をどのように考えるべきかについてふれてみたい。

合併というのは、漁協を大きく強くして、最近の一般経済情勢に対応していけるし組合にしようということである。漁協は、組合員の獲ってきた魚などを一括して販売をしている。

また組合員が神に出て働くための網やロープなどの資材、油などを安く仕入れて、組合員に安く供給している。また船を造るためのあるいは漁具などを仕入れるための資金を楽に貸してくれる。そのほか氷の供給や漁船機関の修理に至るまで組合員が漁業を営むに必要なありとあらゆる便利を図ろうとしているのである。また生活に必要な物資などのお世話までしている組合も少なくない。

このようにして組合の行なう経済事業を通じて組合員にサービスをすることが、漁協本来の姿である。

従って漁協は、これらの事業を行なうに当たって一般業者と対抗して、それに負けず劣らずやっていかなければならない。少さな経営規模ではとても一般業者と太刀打ちできるわけがない。どうしてもいくつかの組合が合併して経営規模を大きくしてやっていかなければならない意味がわかっていただけると思う。

また、いろいろな事業を行なうには人（職員）が要る、人がなければ事業が行なえない、当然のことである。この人達の待遇（給料ばかりではなく労働のいろいろな条件も含めて）についても、一般事業体の待遇より悪くては新しい人は来てくれない、来てくれなければ組合員へのサービスもできないということになるわけである。

これからの漁協がどんどん事業をやって組合員の便利を図り、組合員の生産性を高めようとするならば、優秀な人材を確保しなければならない。それならば待遇をよくすればよい、ということは答えとして簡単に出るも、果たして実行できるや否や、規模の小さい組合では、財政的にも人数の上においてもなかなか実行できない。この意味からも合併の必要性は認識される筈である。

くどくど申し上げたが、要するに合併はなぜ必要なのかをわかっていただくために申し上げたわけである。

また、時にはこんなことも聞かされる。「合併なんかしなくとも、うちの組合はまあまあやっていけるし、組合員も満足している」と――たしかに現在ではそうかもしれない。――だがわれわれからみて将来ともそのままの考え方でやっていけそうだと考えられる組合は、全体の一割にも満たない数であろうと考える。現状でいいんだと考えている組合の殆んどが、そう思っていても本当は事業活動も十分でなく協同組合としてまだまだの状態である。組合員の生産性向上に寄与するだけの働きをなしていない組合である。

同じく「合併なんかしなくとも。」という言葉が出るところでも意味が違う組合がある。それは事業を全然行なっていない組合である。事業を全然行なわなければ経費も要らないから組合員から金を徴収することも要らない。漁業権をもってさえおれば漁業補償にありつく、何もいうことなしである。

然し、これでは協同組合とはいえない。真に海に生活を依存している組合員であれば、こんな組合では困る筈である。別に困りもしない、放っておいてほしいなんていう組合では、果たして漁業者が組合員になっているのか疑わしくなる。

＼合併はどのように進めるか

とにかく合併をすることにより、組合の経営基盤を確立し、組合員の漁業生産性の向上、福利の増進に役立たせなければならない。

さてそれでは具体的にどのように合併を進めていくのがよいか述べてみよう。

「合併したらどんな得があるのか」と質問するよりも、どのように合併したら得になるのか――と考えて欲しい。合併後の姿をどのようにした時、組合員が得になるのかを考えるのが一番大切である。例えば合併後の組合の信用事業は、どのような方針で進めるのか、漁獲物の販売は何処で販売するのがよいか、どんな販売方法をとるのがよいか、本部を何処におくのが一番便利か、支所をおくべきか、おいたら支所では何をすることにしたらよいのか、職員の配置をどうしたらよいか、等々最も合理的、経済的で組合員に最大のサービスができる諸方針、諸計画を樹てればよいのである。この場合時として不便になるとか、若干のマイナス面も出てくるであろうが全体的にプラスが多く、かつ将来への飛躍が期待されるのであるから、少しばかりの犠牲は辛抱すべきであろう。

お互いに遠い将来、子や孫の代まで考えて今この瀬戸際に決して進めよう。

＼最後に

繰り返しいうが、合併は現在の組合員のためばかりではない。将来の漁民のためにもやらねばならぬ。

ただ、いたずらに一部の人達の地位や感情によって阻害されてはならない。

真に海で働き、海に生きる人達のための協同組合をしっかりとつくりなおそうではないか。

連絡系統

組合で発見した場合↓発見者→所属漁協→ブロック資任者→（隣接ブロック資任者）→（水産課）→（県公害課）

通報先

水産課TEL神戸(〇七八)二一一三五四一（淡路のみ）
県漁連TEL神戸(〇七八)三四一七七一一代表
内海漁連TEL神戸(〇七八)六八一六九五四代表
TEL神戸(〇七八)六七一四二四代表
TEL神戸(〇七八)六七一六〇六二
TEL明石(〇七八五)九二一三一〇七代表
姫路市張所TEL姫路(〇七九二)三五一四五四一代表
富島市張所TEL富島(〇七九二)六六一五六六
仮屋市張所TEL仮屋(〇七九三)七一七〇

連絡先

水産課TEL神戸(〇七八)二一一三五四一（淡路のみ）
県漁連TEL神戸(〇七八)三四一七七一一代表
内海漁連TEL神戸(〇七八)六八一六九五四代表
TEL神戸(〇七八)六七一四二四代表
TEL神戸(〇七八)六七一六〇六二
明石出張所TEL明石(〇七八五)九二一三一〇七代表
姫路出張所TEL姫路(〇七九二)三五一四五四一代表
富島出張所TEL富島(〇七九二)六六一五六六
仮屋出張所TEL仮屋(〇七九三)七一七〇

油を発見したらすぐ通報して下さい

洲本農林事務所水産課TEL洲本(〇七九三)二一一三五四一（淡路のみ）
県警察本部公害課

周防灘におけるアカガイの大量発生と移殖

今夏、福岡県豊前海域にアカガイの大量発生がしらされ、これから移殖の適期を迎えるので、その発生概要を調査し、移殖種苗購入の参考に組合します。

豊前海域は水深10m以浅の平坦な泥質帯が幅約10Km、長さ約40Kmで、貝類棲息に適した漁場が広く、従来からタイラギ、トリガイ、クマサルボウ、アカガイの棲息が多く認められていた。昭和41年度からアカガイの発生量が次第に増加し、41年9月の調査では貝類の82%がアカガイによって占められ、現在では生産される貝類の全てがアカガイとなっている。

豊前海域におけるアカガイの発生は、この海域全面におよんでいるが発生の多い地帯は豊前北部海域の約10平方キロメートルで、関門海峡沿埼南東3Kmの地点から南へ5～6Kmの幅で、10～15Kmの長さの漁場である。この漁場でのアカガイ発生量は福岡県豊前水試で一七、〇〇〇～二〇、〇〇〇瓲の累積漁獲量があると計算されている。地元漁業者の話しでは、桁網を三～五分漕げば五〇〇㎏程度の水揚があり、とうてい取りつくせない無尽蔵と表現している。

この海域は門司から豊前市までの二十数漁協共有の漁業権であるが、アカガイは小型底びき船の多い、豊前市宇島、行橋市沓尾、糞島、北九州市門司区柄杓田漁協等が主に船獲している。宇島、沓尾等では毎日六〇瓲程度に制限して漁獲しており、その出荷先は、三十五%が養殖または一次地まき、三十%が蓄積、三十五%が東京市場である。

現在採取している貝はやや小型であるが粒がそろい大きさは二年貝で殻長七～八センチ、殻付重量八〇～九〇グラムである。価格はキロ当たり十四円～十六円で浜渡しされている。輸送方法は一斗缶に十三キロ積、籠六十キロ積み、ばら積（缶詰原料用）がある。十瓲冷凍車に十三キロ入缶八〇〇個積みが東京送りに最適で、移殖用には六十キロ入籠積みが大型トラックで輸送されている。

この海域のアカガイ採捕期間は四十三年十月六日から四十四年三月十日まで、沓尾、宇島漁協で毎日各六十瓲程度の漁獲が続くものとみられている。移殖には十二月～二月の間が貝の輸送上へい死の少ない時期である。移殖貝は兵庫県下で、毎年二〇〇瓲程度由口県等から買受けているが、これは主としてアカガイ輸送業者からの購入で、産地漁協との契約による漁協間の取引きであれば、比較的安価に移殖できると思う。

宇島、沓尾漁協を対象に買付する場合、輸送量は十瓲車使用で、六～七万円要すると、キロ当たり七円の輸送費が必要である。今浜買いキロ当たり十六円とすると、着値がキロ当たり二十三円となり、諸経費を含めても二十六円程度で放流でき、輸送業者を仲介した価格キロ当たり三十三円に比較すると、十瓲購入で七万円の利益差がある。

アカガイの移殖放流はこれからが最適期で、豊前海域の大量発生は数年続くと考えられないので、本年度移殖してアカガイ漁場を形成することが必要でないかと思う。数百瓲程度利益のあげられる養殖をしたいと思います。

（TKHS）

YANMAR DIESEL ENGINE
● 漁場と市場を結ぶ！
〈新製品〉
●PM形／3馬力～4馬力
●船舶主機用　3～800馬力
ヤンマーディーゼル
●T形／10馬力～20馬力
ヤンマーディーゼル株式会社／<本社>大阪市北区茶屋町62番地

採り、育て
繁栄をささえるクレモナ
クラレビニロン
クレモナ®
収獲増大と作業の能率向上をモットーにすぐれた耐久力で勝負しています
漁網・海苔網・ロープ
倉敷レイヨン株式会社
大阪市北区梅田8／東京都中央区日本橋通3の1
●ますます好評の「鮮魚市況速報」
毎朝8時15分から8時30分まで・日本短波放送
冷感網に最適

神戸赤ディーゼル
（使う身になって作る赤機械）
堅牢！高出力！経済的！

・N623RS350PS・
（低速機，全長3.9米）
▶舶用主機関◀
・低速4サイクルディーゼル 240～1,600馬力
・中速ディーゼル 650・700・1,300馬力
・三菱2サイクルディーゼル 1,500～8,200馬力
各種
神戸発動機株式会社
本社及工場　神戸市兵庫区須佐野通8丁目10　TEL（078）575031～6
支店及出張所　長崎（工場及支店）東京，下関，北海道，仙台，名古屋

随筆

仲居さん

助川助六

忘年会は、才時記に欠かせない季題の一つであって過ぎし一年の間の労を忘れるため、知人、朋友らと共に年末に会し、宴席を開くものである。別名を年忘れとも云い、中国では別才会または分才会などといわれる。〝人に家を買わせて我は年忘れ〟という芭蕉の句があるが、近来の忘年会は昔とちがい、せからしい〝年の酒〟になっている。気の早い忘年会は十一月に終っているらしい。昨今のサラリーマン根性は、吹けば飛ぶような将棋の駒であるせいか、宴席は、やけのやんぱちムードに溢れている。そこでいきむい芸者でも高めたいところだが、あいにくと、ふところがさびしい。大奮発しても仲居を呼ぶという段階である。全く人ごとでなく、うらわびしいかぎりであるかも知れない。しかしものは考えよう、仲居でも呼べれば、サラリーマンとしては甲斐性もの。上の口としたいえる。

普通、宴会に侍べる主役が芸者なら、仲居はワキ役というところ、映画でも劇でも今はワキ役がシブい演技を見せ、主役はいわばダイコンである。したがってサラリーマン諸氏よ、仲居バンザイである。或るルポライターも「ハントするなら仲居にかぎる」とお抑有る。仲居には芸者の替りをする〝お座敷ネエさん〟タイプと料理を運ぶ〝ウエイトレス〟タイプがあり、前者は芸者をかねる仲居さんと云うわけ。即ち私は、心ひそかに〝素入り仲居さん〟と呼んでいる。

ものの本によれば、むかしの殿中や大名屋敷の奥むきにあった部屋が仲居と云われ、転じてそこに勤める女が仲居と呼ばれていたらしい。次いで宮廷とか、武家の炊事人や民間の仲働き女中が仲居と称されるようになった。その後、仲居というのは花柳界の言葉となり、遊女屋、料理屋で客をとりなすお座敷女中を指すようになった。客の受けもちは一定していて、座敷の一切を支配したが、その下には、おちょぼ（見習い少女）がいて雑用を弁じたという。したがってサラリーマン諸氏よ、仲居さんに雑用を頼めないことになる。

仲居さんも客のとりなしを専らにしなければならない理屈になる。ちなみにヤトナとは、客のもとめに応じ好みの風姿をして、かたわらにつき添い、或は外出のときに、おともしたりする女を云う。つまり雇い仲居の略称ということになる。たいていお手伝いを修業してから仲居に昇格？するようである。いずれにしろ上品げにツンとした芸者よりは親近感がもてるというものである。

仲居の前歴は、ホステス、芸者、トルコ嬢、ウエイトレス、OLとさまざまで、結婚に失敗したひと、未亡人、ハイミスなど世帯もちもいるので中年女性があり情がふかい。芸者より仲居がいいという通人も出てくるわけ。なかには仲居とは仇をしのぶ仮りの名、じつは芸者であったという。〝覆面仲居〟があらわれる。仲居は赤前だれという紅色の前だれをしめているのが普通。これがホンモノの仲居。それにひきかいこざっぱりしていて肌のキメが細かく、客扱いの上手なのが〝覆面仲居〟とか。何はともあれ、仲居さんがしめる赤い前だれは、おそれ多くも宮廷の仲居以来の伝統である。サラリーマン諸氏よ、酒は涙か溜息か、心のうさのすてどころとは古い古い。ここは一番、大名になったつもりで年忘れに興ずることである。（イ）

どっこばらんあんど

（32）

はら

「売買取引契約の更新期日前には、各買受参加人にその手続きをすることを予告せよ」

販売期限にはこう書かれている。

それにもとづいてまずは手はじめに担保物件、保証人の報告をしてくれとプリントをまわした。

前回はみんなに集まってもらって話しあい、こちらの説明は下手くそでも、しごくものわかりのよい仲買人連中はすぐ了解して契約してくれたので、このたびはいともスムースにことが運ぶワイと、たかをくくっていたのが、案に相違して文句が出はじめた。

いわく

次の日キチンキチンと支払っているのに保証金はいらぬはずだ。

いわく

流路ではここが一番きびしい。

前任者はもっとゆるやかであった。

いわく

「日限までに報告のない方は取引希望がないものとして処理しますので、来年からの取引ができなくなります」この報告のしかたが悪い。

いわく

現金取引であれば、そんなひちむずかしいことをせえでもええのだろう。

いわく　いわくでくちぐちに大勢が一時に質問、それに対する応答はほく一人。

だが、前回は契約そのものの内容に、県の山本さんから説明されても一部にはぼくのこころの一隅に疑問もあり、不安もあったが、うおやけの金を預りそれをまかされて仕事をしている協同組合はやはりこれだけの処置は講じておるのが当たりまえだということが、その後の山本さんとのやりとりで自信をつけさせてくれたし、ちょっとやそっとのことでは動じなくなった。今どんなことがあっても、役員会が開催できて円満に解決されるよう努力しなければいけないと反旗をひるがえす人には説明するなど自信のあることは心が軽い。

ぼくは今までの取引について、直売とか礼止めとかということは、仲買人に言わないようさしひかえている。

妻に出てゆけとか実家に帰れとかいう以上の禁句だと常に心しており、ぼくら側からそんなことを言いだすのは取引においてスムース性を欠くもとになると信じているので、言らぬとか言わぬとかいう話を聞くと馬鹿げたことをほざくなとぼくのこころの一隅に内心あざわらっていたものだが、いわくのひとつに

もし、期限までに全員報告をしないと、全員と取引しないか。

という挑発的な暴言あるいは、徒党を組んでの挑戦的な言動に出られると、こちらも腹をかためてかからねばと

「おそらく全部が全部そんなことはありえないと思われるが」

と前置きし、そこで一息深呼吸してから

「万が一そんな事態が起これば、緊急役員会を開いて、やむをえず新しい角度から販売面を検討せざるをえなくなる」

と答えておいたが、そんなシーンはぼくとしても好まぬし、できる限りさけなければと言いきかせているが、

武士道とは死ぬことをみつけたりで、最後の断固たる腹がまえだけはくくっておかねばと、あまり大きくもない腹をなでさすっている。

自分らのグループは自分らで守らねばいけない。だからよけいなと思うことやいわくのひとつに

少しかは今までの取引について、直売とか礼止めとかということは、徒党を組んでの挑戦的な言動に出られると、こちらも腹をかためてかからねばと

「おそらく全部が全部そんなことはありえないと思われるが」

と前置きし、そこで一息深呼吸してから

「万が一そんな事態が起これば、緊急役員会を開いて、やむをえず新しい角度から販売面を検討せざるをえなくなる」

と答えておいたが、そんなシーンはぼくとしても好まぬし、できる限りさけなければと言いきかせているが、

武士道とは死ぬことをみつけたりで、最後の断固たる腹がまえだけはくくっておかねばと、あまり大きくもない腹をなでさすっている。

自分らのグループは自分らで守らねばいけない。だからよけいなと思うことやいわくのひとつに

しかし、ここもずっと暖かなまるで春のような陽気が続いている。

治にいて乱を忘れず

このあげくには、大きな冷気のかたまりがシベリアから吹きおろしてくるのではなかろうか。

ちょっぴり気がかりにもなるが、

闘志満々

吹け二ン月の

空っ風

萎いなきよう備えておこう。

（43　11　26朝）

（思い出の記）

（40）

神のごとく弱し

風来漁人

河縁の氷もとけて春が近付いた。このような或日次兄新次郎が突然浦賀へやって来た。彼は私と二才しかちがわぬのでまるで双子みたいにいっしょに遊びいっしょに育って来た間柄であった。ちがう所は持って生まれた性格であり随って全く別の型の人間に成長して行った事である。菊池寛が誰かの書いたものに「神の如く弱し」というのがあったこの兄は鬼のように強い身体と根っからの弱気とを併せ持っていた。周囲の人から環境からいつも押されっ放しであり、時々小さなグチをこぼす位で強い不満や抵抗を示すことがない。長じて軍隊に入ると、いかなる上長のしごきにも辛抱にもだまって耐える辛抱強さと体力とを持っているから少しのろまであることを抜きにすれば模範的兵士であった。私のような不平家であり野心家でありそして虫のよい空漠たる夢を描きつづけている男から見るとまさに神のごとく弱いお人好しの人間であった。

新次郎は十七八才の頃、西国各札所めぐりの巡礼の団体に加わったりして、その前後にひまさえあればというより仕事しながらでも何千何番札所何々寺の御詠歌というのを朗々と歌って私に聞かせるのが常であった。いつしか私もその詠歌を全部暗記してしまった。

父は自ら仏教信者でありながらこんな兄を嘆かなかった。「若い身空で信心に凝るなんて事あ了間ちがいだ」というわけで陰でしきりにこぼしたり嘆いたりしているのを見かけた。後年この鬼が船で働くようになった頃、西浦の森丸という船の船主が結料を長く払ってくれないというので何度もそれを請求に行っていた事がある。或真夏の日の暮れ方、昼中から頭まで白く砂ほこりをかぶって見は往復十二三里もある道を帰って来た。ぼそりといった。

「やっぱりあかんのや」

少しももらえなかった事を聞いた父は腹を立てた。

「大相撲にでもはいろうかというドンガラ（からだ）をしてけっかって、そんな時凡をまくって座りこんで、たんかの一つも切って見いそれだけの事業をしとる者がたとえいくらの金でも作って作れん事があるもんか。ゼニがないぞ、ああそうかと引き下がって来るあほうがあるかい。そんなる意気地のないことで妻子を養うて行けるか」頭ごなしにカミ付けられて、しょんぼりと涙をうかべて座っている兄を見ると私もいっしょに泣きたくなる位に兄が哀れであり同時に兄がゆくもなるのであった。

「お前に相談して兄ようと思うてやって来た」という兄新次郎が何をいおうとしているのか大体見当ついていた。老人達といっしょに落らしてもうまく行かぬので何とか身の振り方を考えたい。という話は今にはじまった事ではないのである。船から上がって来て夜半過ぎまで四方山の話をしながら度々との話の焦点に近付いたが、結局現在の環境を自らの力で改善しようという積極さのない彼は、行きつまると方向を変えて逃げようとするだけである。家庭内の折れ合いが円滑に行かぬなら独立して家を構える外ないことは明かであるのになぜ決断つかぬのか。やはり妻やその生家の人達なぞ十分賛成が得られないからというのが真相のようである。

「猫のヒタイ程の土地や財産なんどに引かれる連中のいう事なんか取り合うに及ばん。男一ぴき何をしたって家族を養う位の事に不自由ない筈や。それどころか怪来ひと旗上げにゃならんのに、あんなけちくさい田舎の片隅に引っこんでいたって一生うだつが上がらんやないか」

「そんな事いうても、わしの立場ではいろいろあるんや、それに就職口も思わしいのが待っとるわけでもないし」

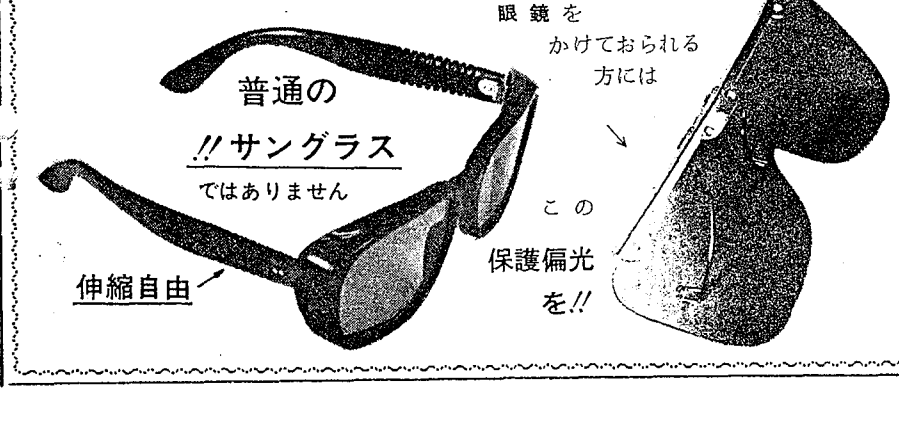
「そんなら吉野丸に乗ったらどうや、他船よりも収入も多い」

「しかしお前が今やめたら予定の計画がくずれるではないか」

「いや、わしは船も持っとるし、弟子も連れとるから、ちっとも心配ない。春になれば漁も見込十分や」

騎虎の勢いというか、話のはずみで、今の廣関士の仕事をこの兄にゆづる気になり兄もその方針にきめてひとまず帰って行った。

しかしその後の成行きは順調にいかなかった。兄は吉野丸に乗船したものの、すぐ家族を呼びよせることもできず、翌年の初カ月の後彼自身が呼び戻される結果となった。先年住吉丸に二人が乗っていた時「お前達のような仲のよい兄弟は見たことがない」とよくいわれたものであった。それは私のわがままやはね上がりをこの兄がいつでも善意と愛情とでやわらと受けとめてくれたからである。誰からも嫌われたり憎まれたりした事のない彼の仏心のような超脱ぶりが彼自身の生きる道をけわしくしたことは事実であり、かって信心することに顔をしかめた父の気持の中には、親としてのもどかしさと共に、やがて近い日に短命に世を去るわが子の運命への予感さえあったかも知れない。



ギラギラした
"あなたの目を海から守る"
三菱保護眼鏡（ダイクローム偏光めがね）

特徴
・目に強い刺戟を与える海面の反射光を除いて長時間の漁業作業でもあなたの目は疲れません。
・あなたの目に有害な紫外線を通しません。
・一般の着色サングラスより薄色で掛けた感じがせず爽快です。

◉この偏光メガネは国鉄指定品として新幹線運転手の方々にも使用して頂いております

三菱電機株式会社